

【2025年度実技入試問題】

問題：台の上のモチーフを鉛筆デッサンしなさい。(120分)

条件：赤色の球体は2つ以上入れ、リボンは画面から切れてもよい

サイズ：四つ切り画用紙

<注意点>

- ・画用紙の使用はタテ・ヨコ自由。
- ・イーゼルの高さや位置は少し変えてもよい。
- ・使用する鉛筆の種類や本数に制限はない。

<解説>

試験は低めの台にモチーフを置き、その周りを4、5人の受験生で囲んで、イーゼルを使用して描く形式である。また、モチーフはどこから見ても有利不利が出ないように座席に配慮した。

出題したモチーフは、ブリキ缶、素焼きの植木鉢、青色の光沢のあるサテンのリボン、赤色のカラーボールの組みモチーフである。

ブリキ缶は、直方体の形状を正確に捉えることが重要である。青色のリボンと赤色の球体はどちらも色がはっきりしているのでブリキ缶に鈍く映り込むのだが、その様子をしっかりと描写することで質感表現に繋げてほしい。

植木鉢は円柱として捉え、中心線を軸に左右対称であることを理解してほしい。

リボンと球体の光の違いにも着目してほしい。どちらもツヤのある質感であるが、サテンは滑らかな光の流れがあり、球体は形態に沿うように天井の光が映り、床面から受ける反射光ができる。これらの細部を見逃すことなく描き分けができればなお高評価である。

モチーフ全体が同一平面上に配置されているという認識を持って取り組むことも必要である。

今回の入試ではモチーフの明度差を理解し、ブリキ缶やリボンのディテールを最後まで描き込む受験生が多く見られた。

<採点の基準>

- ・形が正確で立体の理解できているか。
- ・画面に対して適度な大きさに描いているか。
- ・陰影表現ができているか。
- ・質感の描き分けができているか。

※デッサン練習の際に、中学校の美術の先生などに講評していただくことをお勧めします。

